

「こどもを守るネットワーク」事業

こどもネットニュース



VOL. 180

GPS を使った子どもの見守り政策～立川市～

「GPS」を使った子どもの見守り政策とは？：立川市では2024年4月より、子どもの見守り政策として「低学年児童向けGPS端末の購入助成（以下、「子どもGPS）」を新たに開始しました。今回、大石立川市議会議員のご協力のもと、子どもGPSの担当課である立川市教育委員会教育部学務課の澤田課長にインタビューをさせて頂きました。

[子どもGPSの概要]

- (1) GPS 端末の購入費用の助成（上限1万円）。
- (2) 対象者は立川市にお住いの小学1～3年生の児童の保護者
- (3) 申請方法は2種類（電子申請または郵送・窓口申請）

1. 子どもGPS政策の経緯

立川市でも共働き家庭が増える中で「子どもの見守りをしたくてもできない」家庭が増えています。子どもの居場所や行動が把握できるGPS機器を通して、子どもの登下校時の安全確保は勿論のこと、子どもの行動範囲を把握することができるなど、保護者のサポートができればと考え、今年の4月より取り組みを開始しました。

2. GPS 端末の利点

現在販売しているGPS端末は小型でキーホルダータイプがあり、ランドセルなどに取り付けても目立ちません。また学校への持ち込みも可能となります（携帯は原則不可）。また、子ども政策としてGPS活用に取り組む「松戸市」の取り組みなどを参考にさせて頂きました。

3. 申請内訳や申込方法の状況

4月開始で253件中、半数以上は新1年生からの申請です。また申請者の90%以上が電子申請となります。

4. 子どもGPSの広報方法と今後の課題

現在のPR活動方法は、市広報紙（広報たちかわ）市HP、X（旧twitter）、市教育情報誌「たち」へ掲載し、なるべく多くの人の目に触れるようにしています。

今後は、小学校低学年の保護者会でのチラシ配布や、未就学児向けのPR方法（就学前健診時のチラシ配布など）を検討中です。学校新年度の4、5月が子どもGPSの購入検討の重要な時期のため、対象世帯に対して、その時期に集中的なPR活動をするなどして、より強化する必要があると考えています。

5. こどもネットの取り組みについてのご意見

子どもの見守り活動は「複数の目」があるに越したことはないです。通学路の見守り活動などにおいては企業や労働組合と連携・協力ができれば良いと考えております。

6. 地元議員からのコメント（大石立川市議会議員）

子どもGPSについては拡充が必要だと考えております。新1年生の全員配布や6年生までの対象拡大なども考えながら、子どもが安心・安全に過ごせる立川市の街や環境作りについても議会の中で議論をしていきます。



右図：広報用チラシ

下図：GPS 端末の持ち運びイメージ



立川市の澤田様インタビューを受けて頂きありがとうございます。

「こどもを守るネットワーク」事務局

〒190-0012 立川市曙町2-15-20-5F 連合三多摩ブロック地協内

TEL 042-529-5550 FAX 042-529-5552